

事業所名 ZENIBAKO Brave

公表: 2023年3月24日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				児童定員1日10名のうち放課後等デイサービス定員は1日4名としており、その必要面積・設備は確保している	学習スペースの確保のため、敷地内にプレハブを設置。年齢ごとに集中し学習に取り組める環境を整える
	②	職員の配置数は適切であるか				児童定員1日10名に対し、指導員2名以上の配置があり、児童指導員及び保育士を配置している	現状維持しつつ、より充実した支援のため今後求人掲載により人員確保に尽力
	③	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など特性に応じた設備整備が適切になされているか				写真やイラストなど視覚支援掲示物(カード)を設置、自主的に行動しやすい環境としている	転倒や注意不足により児童の怪我につながるような、ガードクッションなどを使い対策をとることとした
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか				業務会議を行い、共有・協議を実施すると共に、LINE等タイムリーな情報共有を実施。	PDCAサイクルの周知をしているが、自動的に継続できる者とできない者に分かれてしまう。掲示物として貼り出し開始前に確認する
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				アンケート内容について協議を実施し業務改善・支援改善につなげている	日頃の支援についてサービス提供記録を通して利用状況の報告や保護者からの意向も聞き都度調整することを徹底しより良い支援につなげていきたい
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				今年度より事業所HPを開設。前年度分より公開している	継続
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				2020年度に提携園からの外部評価を実施	提携園からの外部評価を実施し、その内容について改善対応策会議を行う。第三者評価委員会による外部評価を検討
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				昨年度まで事業所内部研修を実施	外部研修についても必要なものは研修参加し、研修内容について職員間で周知する
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				相談支援専門員からの基本情報を基に、子や保護者との面談を通じたニーズ把握、サービス計画を作成	継続
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				生活面・身辺自立、社会性・コミュニケーション、健康面・身体面、学びの基礎などの特性が記載された様式を使用	継続
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか				職員参加の業務会議にて担当職員が立案	立案からの全体意見が少ない。支援に対して共有認識を持ち聞かれるよう、全体で協議する時間を確保する
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				一定の活動は曜日や週で設定し、その中で様々な方向性から具体的な活動プログラムを組めるよう留意している	継続
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか					事業所内での生活だけでなく、家庭支援があることを再周知し、まずは週の目標として設定していく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか				相談支援専門員からの基本情報を基にニーズ把握を行いサービス計画を作成。モニタリングで現状把握、課題を明確に見直し	継続
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				前日の業務会議にて確認、職員共通のシフトアプリを活用し各々役割を確認	午前利用前の時間確保が現状困難。現状維持で継続

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか					午前利用の振り返りは業務会議で実施するが、午後利用の振り返りが翌日になってしまう。現状維持で継続し、密度の濃い共有になるよう日々工夫したい
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				支援経過記録入力、職員間で共有できる状態であると共に、サービス提供記録を用いて利用の都度保護者へ開示している	入力・記載したことを次に活かしてない部分がある。業務会議にて深掘りし、PDCAサイクルに沿って振り返りする
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか				利用開始から2ヶ月・4ヶ月・6ヶ月周期でモニタリング及びアセスメントを実施。内容を基にカンファレンスを行い、児童発達支援計画の内容を変更・更新	継続
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか				活動カレンダーに落とし、業務会議ですり合わせながら提供	継続
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				児童発達支援管理責任者及び、日頃よく対応に当たっている職員が参画（さんかく）する事としている	継続
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか				通所予定表と保護者を通して情報共有を実施。何かあれば電話連絡で迅速に対応できるようにしている	継続
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					医療的ケアが必要なお子様の受け入れはしていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				お子様の様子シートや保護者様を通して情報共有、面談などを通して相互理解に努めている	継続
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					現在該当児童なし。今後該当児童がいる場合は、お子様の様子シートや面談などを通して情報提供に努める
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				定期的なモニタリングや電話等での情報共有・助言をいただいている	継続
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				新型コロナ流行の観点から外部機関との交流は控えてきた	コロナ緩和により、外部機関や子どもたちとの交流の機会を設けられるよう検討したい
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか				案内を受けているが、勤務体制上、現状の参加は困難	体制を整えて極力参加していきたいと考える
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか				送迎時にご自宅の様子や事業所での様子を確認し合うと共に、利用の様子をサービス提供記録を通して保護者へ開示し、必要に応じてLINEでの情報共有を実施している。が、共通理解を持つまでには至っていない	今後親子療育を視野に入れ、子ども・親・指導員が直接関わる機会を設け課題を明確にし、理解を深めていきたい
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				送迎時や面談、事業所独自の書面を通してお困りの事がないかヒアリングを実施、対応等について支援を行なっている	事業所独自の書面は習得が難しいと感じている。お子様の様子や成長の記録として今後も継続し、別で親子療育を視野に入れ、子ども・親・指導員が直接関わる機会を設け課題を明確にし、理解を深めていきたい	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				利用契約時に説明を行っている	継続
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				送迎時や面談でのヒアリング。他事業所独自の書面を通して子どもの成長と発達についてじっくり考えやりとりできるよう取り組み中	継続
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				昨今はコロナ禍における密や不必要な接触を避ける観点から実施を見合わせた	今後は保護者からの意向も考慮した上で、父母交流会の開催支援や保護者会等の開催を検討している
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				苦情受付担当と責任者を設置し、相談や申し入れ等も調整の上でご家族様へ返答、必要に応じて会議開催できる旨も伝えており、意向があった際には都度調整している	継続
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				年2回会報の発行を実施。昨年より事業所HPを開設し、年間行事予定や活動の様子等発信している	継続。受信側の意向を汲み取り、より工夫をしていく
	③⑮	個人情報に十分注意しているか				利用契約時に個人情報保護についての書面を説明し、ご家族様より同意を得ている	継続。個人情報管理体制をより徹底し、職員間で周知する
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				連絡事項については日にちに余裕を持ち、口頭だけではなく、文書やLINEを活用し、予定については事前・前日・当日等に都度情報伝達するようにしている	ご家庭の事情やお子様の障害特性に応じて、伝達の方法を工夫し、都度対応していく
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				地域を巻きこんでの事業運営には至っていない。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、不要不急の外出や不特定多数と接触する活動は可能な限り控えてきた	現状未定。コロナや感染症等落ち着いたタイミングで今後検討したい
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				各種マニュアルを策定し、職員については内部研修にて発生を想定したロープレを実施している	保護者へのマニュアル開示はしていない。研修内容や結果等、LINEや活動カレンダー、事業所HPを通して定期的に周知していく
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				業務会議等で周知し、年2回、その他必要に応じて（実際に非常災害の心配がされる場合）各種訓練を実施している	訓練内容や結果等、LINEや活動カレンダーを通して定期的に周知していく
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか				内部研修については業務会議の一環として開催できるよう年間活動に組み実施。外部研修については開催日程等の確認や案内を受けて、今後必要に応じて研修参加予定である	継続
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				現時点で身体拘束を行うべき対象者はいない	必要である場合には個別支援会議等で相談支援専門員、および保護者とも共有をした上で、職員へも業務会議等で周知し、その上で児童発達支援計画に記載し、日頃の対応に当たる事とする
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				各児童について医師の指示書を確認させて頂き、事業所重要事項に同意をいただいた上で対応している	継続
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				ヒヤリハット報告書ファイルの設置。都度事例を業務会議等で共有し、日頃の対応に活かしている	継続	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 2023年3月24日

事業所: ZENIBAKO Brave

保護者等数(児童数) 2 回収数 2 割合 100 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50%			50%		児童定員に対して必要な面積・設備を満たし、また活動ごとにスペースを確保している。受け入れ人数等により今後さらに臨機応変に対処したい
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					児童定員に対し配置数は適切である。全体での研修実施や参加・取得、日々の振り返り等日頃から知識経験を積めることを継続する
	③ 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など特性に応じた設備整備が適切になされているか	50%			50%		写真やイラストなど視覚支援掲示物(カード)を設置。転倒や注意不足により児童の怪我につながらないように、ガードクッションなどを使い対策をとることとした
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%					アセスメントによる保護者様からのご意見を尊重し、お子様の様子と照らし合わせた上で課題や目標を立て作成をしている
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%					一定の活動は曜日や週で設定し、その中で様々な方向性から具体的な活動プログラムを組めるよう留意している
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%					コロナにより密な交流が困難な時期が続いたので、コロナ集結とともに外部施設と連携を取りつつ交流する機会が取れると良い
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					契約時に読み上げながら1項目ずつ説明を行い、質問等確認をするように留意している
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%					送迎での顔合わせ時やLINE、サービス提供記録など活用し、その日の様々な様子や出来事、状況などを共有するよう留意している。今後さらにコミュニケーションの機会を増やせると良い
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					来所や訪問での定期面談を実施。自宅や外部での様子、事業所での様子を総合し計画作成や変更に取り入れている
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	100%					昨年度までコロナ再流行やご家庭の都合等、開催が続いて見送られた。今年度はよりワクワク感が持て、親同士の交流をメインにした会を企画策定したいと考える
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%					相談・苦情等受付担当者および責任者設置、保護者からの相談は当日中に全体へ周知・事実確認と協議を徹底。また決定事項は当事者に対して口頭、電話、LINEなどで速やかに保護者へ説明するよう留意
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					サービス提供記録で日々子どもの様子を共有し、必要に応じて電話やLINE、送迎での顔合わせ時に共有している
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%					通所予定表や活動カレンダーで確認・周知。事業所利用に関して年度末に実施するアンケートを継続。前年度までは紙媒体、今年度より当事業所HPに掲載。今後HPを活用し情報発信に工夫したい
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	100%					保護者からいただいた情報は利用者個人ファイルに一定期間内保管とする。保管期間が終了するものはシュレッダーで破壊。保護者より事前に許可をいただき事業所

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%					緊急時対応・感染症対応については職員間で周知し、マニュアルに沿って研修の定期開催を継続。状況に応じた各訓練を定期開催している。訓練概要や実施日等は年間予定表への記載やご案内にて周知している
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%					
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%					子どもたちの自由な発想や取り組み姿勢を大切にし、良い部分に着目できる姿勢を持って支援に携わっていく
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%					日々のご理解・ご協力に感謝申し上げます。これからも子どもが楽しく成長できるための支援に留意してまいります

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。